

所長だより第72号 令和4年3月15日

# 希望の船

We love BIWAKO

「みずうみに学んで世界の明日をひらく人」

滋賀県立びわ湖フローティングスクール  
〒520-0047 大津市浜大津5丁目1番7号  
<https://uminoko.jp/>

## 本年度の航海をすべて終了

【所長 東 文三】



令和3年度も残りわずかとなりました。

フローティングスクールでは、2月21日に大津港にて終航式を開催しました。当日、湖南省立石部小学校、菩提寺北小学校の児童が乗船した児童学習航海の後、大津港を会場にして、両校の先生方、児童の皆さん、学習船「うみのこ」松林船長、食堂の小西店長、県教育委員会事務局幼小中教育課村田課長のご臨席を賜り、行われました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年度に引き続き5月から1日航海として実施しました。スタートしてから7月までは順調に児童学習航海が行われましたが、緊急事態宣言が発令され8月から10月上旬までの20航海が延期となりました。その後12月まではほぼ予定通りでしたが、1月から3月には、第6波により学級閉鎖の学校が多くなり、「うみのこ」整備のためのドック入りを急遽遅らせてもらい、のべ15航海を延期し3月14日に今年度最後の航海を終了しました。

児童学習航海は、新型コロナウイルス感染症の影響により約46回の延期をしましたが、全101回の航海を終えました。一方、特別航海等は当初予定していた「うみのこ」見学会と県内外の親子を対象とした親子体験航海は2航海を中止しました。これまで「うみのこ」見学会では、多くの方に学習船「うみのこ」の船内を見学してもらい、また、親子体験航海では、県内外の応募していただいた方にフローティングスクールを体験していただく機会となっていましたが、開催できず大変申し訳なく思います。来年度以降、新型コロナウイルス感染症の拡大が収束しましたら、開催したいと考えております。

このような状況でありましたが、2月には未乗船児童対象の「湖の子」体験航海は、開催できました。転入してきたり欠席したりして児童学習航海に乗れなかった児童が、「うみのこ」に乗船できたことはありがたいことでした。

また、今年度も1日航海となり体験できるびわ湖学習が少なくなったために、希望する学校対象に出前授業を実施しました。琵琶湖大橋港で行った「カッター活動体験教室」を含むと、昨年度より約30校多い、のべ80校で「水のごれ回復実験」や「びわ湖の深呼吸」の実験をして、びわ湖の環境について考える学習に取り組んでもらいました。乗船校からは、出前授業が乗船中の体験学習への意欲を高めたり、学びを深めたりすることに有効だったという感想もいただいたことは何よりの成果でした。

さて、学習船「うみのこ」は、今年フル稼働したエンジンや船体の整備のため造船所のドックに入ります。来年度乗船する予定の新5年生のために、万全の備えをしたいと思っております。

振り返ると、今年度無事終わられたのは感謝しかないと存じます。ご支援ご協力いただいたすべての方々にお礼申し上げます。本当にありがとうございました。